

# 平成30年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立田無第二中学校

## ●全国学力学習状況調査(小6・中3)

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	主語を明らかにし、「誰」(何)の「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書く	27.6	文章の中での接続詞の働きなど、読む力については着実に身につけているといえる。	語彙力は読書環境などに左右されてしまうので、意図的に語彙力をつける活動を行う。
	適切な語句を選択する問題	31		
	「それでは」の働きとして適切なものを選択する問題	95.7		
算数・数学	グラフから求める方法を説明する	8.5%	領域別に見ると、資料の活用分野の正答率が高くなってきている。評価の観点別に見ると、数学的な見方や考え方を対象とする問題の正答率が高くなってきている。	関数の分野において、式とグラフの特徴を関連付けて理解することと、数学的に説明することに課題が見られる。
	歩いた道のりと、残りの道のりの関係について、正しい記述を選ぶ	31.6%		
	一次関数 $y=-2x+6$ が表すグラフを選ぶ	56.4%		
理科	濃度が異なる食塩水のうち、特定の質量パーセント濃度のものを指摘できる	38.50%	「活用に関する問題」の正答率が高い。また、観点別では「自然事象への関心・意欲・態度」「科学的な思考・表現」の正答率が高く成果がみられた。	「自然事象についての知識・理解」の正答率がやや低く課題がみられた。
	神経系の働きについての知識を身に付けている	40.20%		
	植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘できる	23.90%		

## ●児童・生徒の学力向上を図るための調査(小5・中2)

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	読む能力5-(4)	29.8	情報を取り出して、必要なことを読み取ることができている。	情報と情報の関係を整理する活動を増やしていく必要がある。
	読む能力5-(1)	43.9		
	読み取る力6-(3)	63.9		
社会	東北地方の半導体工場と交通の関連を読み取る	13.5	知識・理解や社会的な思考・判断の調査問題では、高い正答率が見られた。対話的な学習の頻度を増やした成果だと考える。	複数の資料から一つの答えを導く問題に関しては、正答率が低い。資料から読み取る授業の機会を増やし改善していきたい。
	年表からの知識理解	31.5		
	尚氏と地図との関連	36.9		
算数・数学	円柱の表面積を求める	18.90%	「式の計算」の分野での正答率が高くなっている。また数学的な関心・意欲・態度に関する問題の正答率が高くなっている。	空間図形の分野について円柱の表面積を求める問題と問題文から必要な情報を取り出す力に課題が見られる。
	割合に関する問題で方程式を作る	22.50%		
	3本のモールのうち、最も短いものの長さを求める	23.40%		
理科	質量パーセント濃度を求められる	24.30%	「自然事象への知識・理解」「観察・実験の技能」の正答率が高く成果がみられた。	「計算問題」や「意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力」に課題が見られた。
	面積と力の大きさの関係から圧力の大きさを比較できる	9.00%		
	力の作用点や大きさ、向きを正しく判断できる	3.60%		
英語 ※中学校のみ	疑問文に正確に答える問題	29.7	・コミュニケーションへの関心・意欲が高い。 ・話し手の意図を聞き取る問題で成果が出ている。	・表現の力を身につける必要がある。 ・まとまった文章を読んで理解し、必要な情報を取り出す力を身につける必要がある。
	資料を読み取って表現する問題	26.1		
	必要な情報を正確に読み取る問題	20.7		